

日中友好新聞

読字 原田 親

No. 602

2010/4/5

日中友好新聞

残留日本人孤児の改正支援法施行から2年

改正支援法のもつで

②

「法」の成否のかぎを握る「支援・相談員」制度

この制度は、支援給付に関する運用上の配慮の一つとして、第十四条の5項 支援給付の実施に当たっては、特定中国残留邦人等の置かれている事情にかんがみ、特定中国残留邦人等及びその配偶者が日常生活又は社会生活を円滑に営むことができるようにするために必要な配慮をして、懇切丁寧に行うものとする。」にもとづいて、新たに導入されたものです。

それゆえ、選任にあたって実施主体(地方自治体)は、中国残留邦人に深い理解を持ち、言葉の問題、生活習慣の違いおよび中国在在時、帰国後の苦勞を十分に理解している「者」から選ぶとされています。同時に、中国語が堪能で改正支援法に對する十分な理解が求められていることは、いうまでもありません。

厚生労働省は、この制度の趣旨を徹底するために、全国の自治体担当者会議(2008年2月28日)及び支援・相談員を対象にした全国研修会(同年3月24日)を開催しました。

その場で弁護団にスピーチの

時間が与えられました。

弁護団を代表して米倉弁護士は、中国残留日本人孤児達では、中国では「日本鬼子」、日本では「中国人」といじめられ傷つき苦難の人生を歩んできたこと。訴訟を起こした動機。そして、新たな支援策によって普通の日本人としての尊厳ある老後の生活が実現することを切望する心情などを具体的に話し、今後の協力関係を呼びかけました。



倉敷日本語教室

岡山県も国の指導を受け、各市町村の担当者、支援・相談員を対象に研修会を開きました。その場に日中友好協会岡山・倉敷支部や中国帰国者の日本語教室の代表が参加し、岡山県の「残留日本人孤児」の現状をふまえて、今後それぞれの立場で協力し、この制度が機能するように訴えました。

岡山県の「支援・相談員」の多くは、これまでの「自立指導員」が横滑り人事で就任しています。

日中岡山・倉敷支部と各自自治体との話し合いの中で、これまで「孤児訴訟」の通訳などを経験した南連さん(2009年7月まで)や馬小菲さん(2009年8月から)などが加わり、孤児達の満足度が高まり、自治



2月17日 元原告団3役会議

体職員からも歓迎されています。2010年4月から日中岡山が新たに推薦した人が二名選任されました。

これらの人々は、中国残留邦人問題や生活習慣への理解が深いことから、今後の活躍が期待されています。

わたしたちは、この制度が総にかいた餅にならないよう、中国残留邦人の現状をふまえて、各自自治体に対して、問題点を正し、具体的な要望や提言をこれまで以上にすすめていく必要があります。

中国帰国者問題 写真展

と き:4月27日(火)~30日(金) (*29日(木)は休み)

時 間:27日(火) 10:00~17:00

28日(水) 9:00~17:00

30日(金) 9:00~16:00

と ころ:岡山市役所1階ロビー

主催:日中友好協会岡山支部 ・連絡先:日中友好協会岡山支部
 事務局長 小林軍治 TEL/FAX 086-277-2470

【展示内容】

- 中国帰国者問題の歴史と現状
- ①大主上房・七虎力・龍瓜開拓団の足跡
- ②岡山県満蒙開拓青少年義勇軍
- ③日本語教室の歩み
- ④中国帰国者との交流会

春節も過ぎ、窓への光も春の輝きを感じさせます。

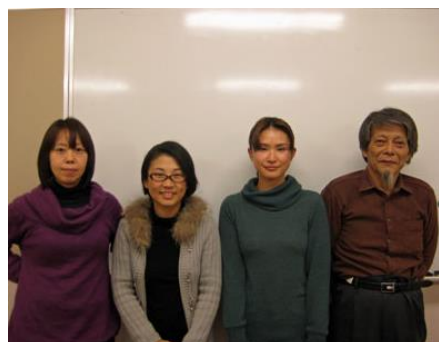
中国語講座に参加してもうすぐ一年か!

それまで一人NHKの中国講座を聞き、勉強していたけど、受身だけの勉強では、一人よがりの学習になると思ひ、私には時間も金もないけど、身近に出来る四十年、五十年経って、中国から日本に帰ってこられた家族の方々や中国語で会話ができるようになったら、なんて素晴らしいことかと思ひ、今の講座の門をたたきました。

そのときの先生は小柄で、背筋のピンとした日本語の語尾のハッキリとしたしゃべり方をされる中国出身の南先生とおっしゃられた方でしたが、間もなく、南先生のご都合で、次の新しい先生に替られ、その方は、昼は大草原で馬を操り、夜は満天の星をじっと見ながら育ち、日本語研究をされている元氣の良い明るい馬先生です。

二人の先生は共に厳しさの中にも優しさを持ち、私たちが中国に行つたときも困らないよう四声、言葉の使い方を指導され、その合間には中国の文化、習慣、景色、食べ物等を手を取つて見えるかのように説明、紹介され、私たちは日本にいな

日中友好の架け橋に



中国語講座 中級クラスのみなさん

ら、中国で暮らしたことがあるような気分になりました。

そして、講座を受けている方々は様々で、これからできる赤ちゃんののために、職場の中国人とコミュニケーションが取れるようにと考えている方、中国のことをとても知りたい方、これから中国に留学される方、旅好きの方など、多種多様で、私たちが中国語が分からない、できない事をすばやく助けてくれます。この様な先生、生徒さんの中で学習でき、今では毎晩、夢の中ではすべて中国語で喋っています。エン。

このような講座で学習でき、私は大変幸せで、きつと早く中日友好の架け橋の一部になれると心の底から思ひ、皆様、一度私たちの授業参観してください。 再見。

火曜日岡輝公民館 神埼

発行所
 日本中国友好協会
 〒113-0045 東京都文京区
 西日暮里1-1-1 東5号204室

日中友好協会
 岡山支部
 〒700-8236
 岡山市北3-8-30 511
 TEL:0861272-3010
 郵便番号11所
 01250-0-3835

日中友好協会
 倉敷支部
 〒713-8011
 倉敷市港島中央1-8-1
 (宮地方)
 TEL/FAX:0860446-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.web.infoseek.co.jp>
 メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp

第80回日中文化講座

「いまの中国をどう見るかー映画・漫画を通してー」

石子順氏 講演 ⑩

レッドクリフこれは三国志です。2008年に起こった戦争ですが、ジョン・ウーという監督は、自分から見た反戦映画であるということを繰返し言っている。日本での宣伝は、ほとんどレッドクリフの戦争規模とか、英雄達の戦いというイメージが大変強いんですけど、赤壁で激突ということになっています。でも、中国国内での監督の発表をみますと、あくまでも中国の長く続いてきた戦争をやめさせるための、反戦映画であるということ、繰返しジョン・ウーは言っている。

この人はこの映画の中で白い鳩をたくみに使っています。白い鳩に平和の印を象徴するわけです。伝書鳩のような役割を映画の中で果たして、象徴的な感じで白い鳩が空を舞っていくんです。

この映画でもう一つすごいのが女性にも焦点を当てていることです。三国志というのは、どっちかという男の戦いですね。曹操に孫権に劉備に孔明に周瑜に、しかしそこで女はどうしていたのかということですね。孫権の妹と周瑜の奥さん、この二人の女性がこの映画の中では大変大きな役割を果たすということなんです。つまり女も戦争をやめさせようと頑張った、大きな力を発揮した、そういう映画です。

私個人的にいいと思いますと、孔明が好きなんです。金城武もいいなあと思ったり、あの日本人が大変うまいんです。日本語ですから、あたりまえなんですけど、お父さんが日本人で、お母さんが台湾の人ですね。三十代ですね。周瑜も孔明も三十代の前



半でああいう大きなことを成し遂げた。周瑜の場合はこの赤壁の戦いの後、三・四年で病死してしまふ。一番人生の上り坂の中で、闘うということは言い換えるとう生きるかという事です。曹操も決して悪役で終っていない、曹操も人間らしい、人間味を持って描いている。

監督に言わせると、ハリウッドで何本か仕事して、そのままハリウッドで映画撮っても良かったんだけど、ハリウッドは英語ばかりですから、やっぱり中国語で中国人の映画を撮りたいと中国へ戻ってきた。

企画として、三年ぐらい前から「三国志」といって

が、「今更三国志なんて」と、誰も相手にしなかつたらしいんです。でも粘って、赤壁の戦いに焦点を当てた。

もう一つ言うと、この映画には日本も出資している。だから、中村獅童がでていゝんですね、もともとああいう役はないんです。現実に三国志にはああいう將軍はいないんですね。やっぱり出資した日本のために作った。中村獅童はほとんどしゃべらないですね。歌舞伎役者らしい中国の俳優とは違ったアクション、立ち回りをさせる。これだけすごい映画ですから、中国で大ヒットしました。日本でも大ヒットしています。 つづく

高島日本語教室の課外活動 倉敷美観地区へ

高島公民館の日本語教室は、始まって9カ月が経ちます。教室で岡山の観光地を学んでいくうちに、実際に行ってみよう、ということになりました。そこで、行き先は希望の多い倉敷の美観地区」と決めました。

①公共交通機関を利用することで、社会経験を豊かにする。②岡山県の文化の豊かさに触れよう。③帰国者同士、帰国者と講師間の交流を深める。の3点を目的にしました。3月最後の日本語教室の日、30日(火)、午前10時に高島駅に集合です。

桜の開花がはじまったばかり、肌寒くはありましたが、天気は快晴、春の強い日差しに温かさを感じながらの1日旅行でした。

高島駅に到着した受講生の篠原さん夫妻、工藤兄弟、益田さん、竹本さんは、講師の文屋さん、山崎さん、黄さん、成田さん、稲葉、小林事務局長に見守られながら、自動券売機で切符を買いました。途中、講師の高田さんが合流して13人の課外教室です。

倉敷駅からゆつくりと倉敷中央大通りを進んで美観地区に入りました。白壁の保存



された街並みを味わいました。竹本さんはさつそく、道路に広がっている露天商でネットレスを買います。800円の品物を600円に値切る様子は売り手との駆け引きの賜物です。

お昼のために、倉敷物語館」に入りました。庭のあちこちにある歴史的な文化遺産の案内版には、日本語、ハンダ語、中国語、英語で書かれていますので安心です。篠原夫妻は、入るなり、宝物殿に入って、じつと歴史の勉強をします。突然、文金高島田の花嫁と袴姿の花婿が現れました。きれいな姿に見とれている工藤さんが、中国で待っている彼女を想い、持ってきたビデオカメラをずーっとまわしていました。

2階の和室を借り切ったの昼食です。持ってきたお弁当を広げて、講師は「おにぎり」をお裾分けしました。すると篠原奥さんが朝早くから作ったのか、酥餅(スウピンゲ)という、お饅頭のような、パンのような、食べ物を皆に配ってくださいました。あまくておいしい酥餅をいただきながら、中国ではお弁当を作る習慣はないのだという話を聞いています。と、工藤兄さんが、すてきな声で歌を歌いだしました。不城故事(シヤオ・チョン・グウス)というテレサ・テンの歌と益田さんが「花国の春」を、歌いました。盛り上がったところで、篠原さんが少年時代を偲ぶように、文革の歌(毛沢東をたたえる)をしつかりした口調で詠ったのです。

昼食後は、2時32分の電車の時間まで、倉敷川の鯉に餌をやったり、のんびりと川船を楽しんでいる姿を眺めたり、アイビースクエアまで、足を延ばして、まだ5分咲きの桜並木を歩いたり、たつぷりと、倉敷で日本情緒を味わいました。団体旅行ではありませんが、道案内の不十分さか、束縛もなく自由に観光地を楽しむことができて、満足だ、という感想をいただきました。今後も時々課外活動を取り入れながら、深みのある日本語教室にしていきたいという思いで帰路につきました。

稲葉泰子

次回の新聞送付作業は
4月12日(月)午後1時半
民主会館2階で行います。
前回お手伝いくださった方
です。

和製
葉吹林井内
稲貝小白竹